

# 従属人口指数

## 42.5%

### 基礎となるデータ

- 資料：総務省統計局 人口推計月報（平成14年～平成18年）  
 資料：岩手県総合政策室 岩手県人口移動報告年報（平成14年～平成18年）
- 平成18年滝沢村年少人口（0歳～14歳）：8,317人
  - 平成18年滝沢村生産年齢人口（15歳～64歳）：37,510人
  - 平成18年滝沢村老年人口（65歳以上）：7,634人

### 算出式

$$\text{従属人口指数} = (\text{年少人口} + \text{老年人口}) \div \text{生産年齢人口} \times 100$$

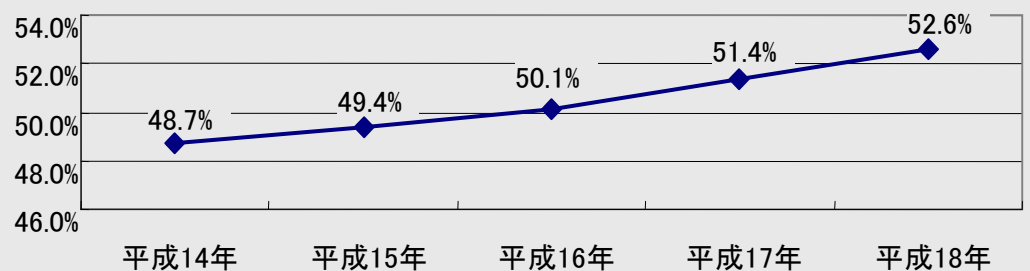
### 指標の表す意味

生産年齢人口が社会・経済活動を担う年齢層であり、それに対し、年少人口および老年人口の年齢層は、概して生産年齢人口の被扶養人口に相当することから、従属人口指数は、社会・経済的負担の程度を示す基本的な指標といえます。

### 指標の重要性

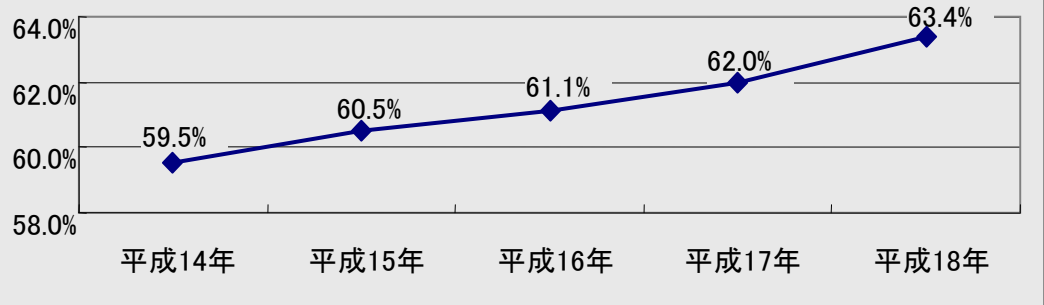
この指標は、単純に年少人口と老年人口の年齢層が被扶養人口と考えた場合に、生産年齢人口の年齢層が社会保障等を支えている割合と言えます。この指標が大きくなれば、生産年齢人口年齢層の1人が支える負担が大きくなり、小さいほど負担は小さくなると言えます。少子化、高齢化という社会構造の変化により、日本の従属人口指数は今後大きくなることが予想されます。社会構造の変化が、この指数に顕著に現れることから、社会構造の変化を知る意味では重要な指標といえます。

### 全国の推移



- 資料：総務省統計局 人口推計月報（平成14年～平成18年）
- 平成18年全国年少人口（0歳～14歳）：1,744万人
  - 平成18年全国生産年齢人口（15歳～64歳）：8,371万人
  - 平成18年全国老年人口（65歳以上）：2,660万人

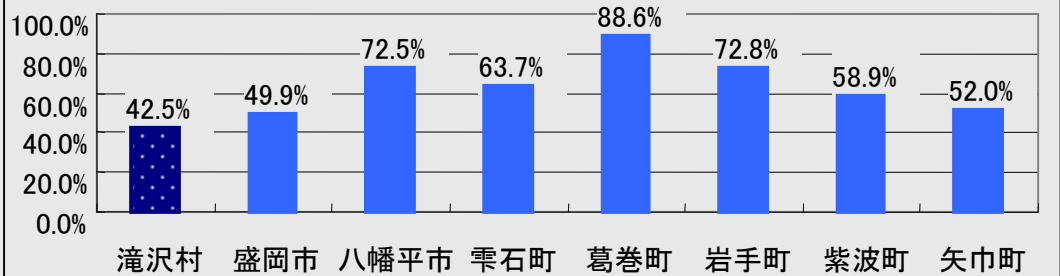
## 岩手県の推移



資料：岩手県総合政策室 岩手県人口移動報告年報（平成14年～平成18年）

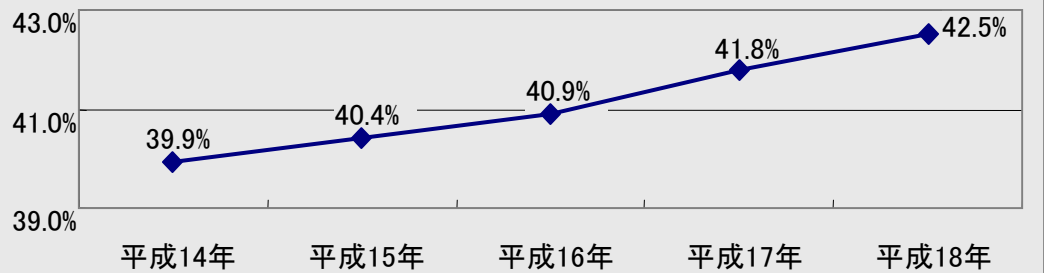
- 平成18年岩手県年少人口（0歳～14歳）：186,319人
- 平成18年岩手県生産年齢人口（15歳～64歳）：838,517人
- 平成18年岩手県老年人口（65歳以上）：345,610人

## 近隣市町村との比較



資料：岩手県総合政策室 岩手県人口移動報告年報（平成14年～平成18年）

## 滝沢村の経年比較



資料：岩手県総合政策室 岩手県人口移動報告年報（平成14年～平成18年）

- 平成18年滝沢村年少人口（0歳～14歳）：8,317人
- 平成18年滝沢村生産年齢人口（15歳～64歳）：37,510人
- 平成18年滝沢村老年人口（65歳以上）：7,634人

## 動 向

全国・岩手県・滝沢村ともに従属人口指数は年々上昇傾向にあり、生産年齢人口層の1人が支える負担が大きくなっています。近隣市町村で比較した場合は、滝沢村が一番低い値を示していますが、年々の人口増加率の減少に伴い、従属人口指数は更に上昇していくものと考えられます。

## 村の対応

従属人口指数の上昇にともない、今後更に高齢者福祉サービスの需要が大きくなっていくものと予想されます。高齢者がいつまでも元気で明るくいきいきと暮らすことが出来る環境整備が必要であり、財政状況が緊迫する中での負担とサービスのあり方や協働のあり方が大きな課題となってきます。